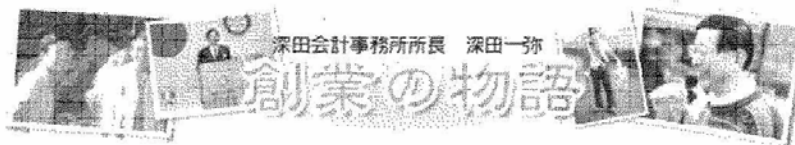


●メリハリあるデザインが閲覧者に訴えかける！

メリハリの効いた文字使いと配色によるデザインが、閲覧者の知りたい情報がどこにあるかを、分かりやすいものとしている。



トップページ ▶ 深田会計 創業物語 (1 税理士開業まで)



深田会計事務所所長 深田一弥

創業の物語

▶ I 税理士開業まで

- II 駆け出し税理士時代
- III 多くの事の体験時代
- IV 税務当局との関わり

昭和46年11月、晴れて税理士登録を果たした私は、若干28才。地元最年少を誇っていた。前途は洋々と私のために開かれていると思った。しかしそれが全くの誤解であることを早々に思い知らされる

関与先からも「続きはいつ？」と催促がかかる「創業の物語」は、代表社員・深田税理士の自叙伝。私生活から業務上の苦悩まで、深田氏の人となりを知ることができる。

顧問先の声を届けるこのコーナーでは、顧問先の担当者である職員の紹介も兼ねられるよう工夫されている。こうした工夫も、閲覧者に深田会計を身近に感じられるものとしている。



(有)ダイデン建築 大泉様 担当 安達

長らく深田会計さんにはお世話になっています。いろいろな面で対応してくれるので、知り合いには深田会計に頼めばいいと話しています。

- ◎無料相談お問い合わせ
- ◎経営・税務のプロスタッフ



サイトオーナーの一言 税理士/深田 一弥氏氏

トップページのどの項目がクリックされているのかを統計化し、ニーズに応じたページ作りを行うよう心掛けている。手前みそだが、私の半生記の「創業物語」は、初めて事務所を訪れる方にとって、私を身近に感じてもらえる効果となっているようだ。

プロの◎眼 システムコンサルタント 神田 祐治

コンテンツの質には「正確性、専門性、更新性、明確性」の4点が求められる。この「明確性」に優れているのが当サイトだ。誰に読ませるのが徹底されている。新たに顧問先になっていただく方にアピールするよう作られているのだ。わかりやすいタイトルは閲覧者に税理士事務所の安定感を感じさせ、やや広告色が目につくストレートな表現はサイト運営者からの強いメッセージになっているのである。

税理士と関与先のための総合誌

税理 2

おかげさまで
創刊 50 年

Vol.50 No.2 FEBRUARY 2007

日本税理士会連合会 監修

きょうせい

特集 ■ 注目業種の確定申告対策

特別企画 | 会計参与がチェックする 会社状況の異常性把握技法

《フロントページ》

自民党税制調査会会長 津島雄二

商工中金副理事長・元国税庁長官 大武健一郎

- 事例研究
農地転用決済金等の譲渡費用性に係る最高裁判決とその波紋
- 所得税実務
否認事例から学ぶ 専従者給与の支給と専従実態立証策
- 業種別税務
整形外科医院の税務と経営改善指導

別冊付録

平成18年分

所得税・消費税等・贈与税の申告実務

巻末付録

税務情報:

平成19年度 税制改正大綱・ほか

